



■ 浪曲 とことんじゃぼねすく

テレビ番組の企画で「家庭教師ケイコ先生」としてデビューした春野恵子さん。その後、タレント・俳優としてドラマ、CM、バラエティー番組等で活躍。2003年に浪曲と出会い、稽古を重ねて2006年に初舞台、2012年に「咲くやこの花賞」大衆芸能部門を受賞しました。

日時 4月8日(土)
14:00開演

場所 文化会館 視聴覚室
出演 春野恵子
入場料 【全席自由】
2,000円
(当日は2,500円)



※未就学児の入場はご遠慮ください。

チケット販売場所 文化会館、平惣書店(阿南センター店、羽ノ浦国道店、徳島店)

※無料託児室を開設します。(10カ月～8歳)
ご希望の方は1週間前までに予約してください。
(託児予約 ☎23-5599)へ

問い合わせは 文化会館(☎21-0808)へ

■ 「第56回 阿南市美術展」出品作品募集

開催日 5月3日(祝)～5日(祝)
場所 文化会館 視聴覚室および研修室
出品資格 市内在住または出身者および本市と関係の深い方で阿南市美術協会の会員(初めて出品される方は、阿南市美術協会に入会していただきます。)
※小・中学生は出品することはできません。

作品規格
日本画 6号から50号までで額装または表装
洋画 6号から50号までで額装
書道 聯落以下(表装または軸仕立て、縦横自由)
写真 単写真、組写真とも半切およびA3～全倍サイズ
画面の長辺は40cm以上90cm以内
スクエアサイズ(正方形)は一辺が30cm以上50cm以内
組写真は1パネル(90cm×180cm以内)に全作品を固定

彫塑・工芸・デザイン 横1.5m×縦1.5mまでで、
展示にふさわしいように仕立てること。

※規格以外の作品は受付・展示はいたしません。
※額装にはガラスを用いないこと。(工芸の押し花作品のみガラス可)

※アクリル板の使用は可(日本画はアクリル板も不可)

出品点数 1人につき1部門あたり2点まで
会費・出品料 美術協会年会費1,500円(初めて出品される方と3年以上出品されていない方は、入会金1,000円が必要)
出品料は1点につき500円

作品の受付・搬入 4月27日(木) 9:30～12:00
文化会館2階 研修室
※この日以外は受付できません。

問い合わせは 文化振興課(☎22-1798)へ

■ 北條民雄文学賞受賞作品集について

北條民雄文学賞受賞作品集を4月下旬から販売します。
価格 1冊 500円
ご希望の方は、下記までお問い合わせください。

問い合わせは 文化振興課(☎22-1798)へ

阿南市の文化財

阿南市文化財保護審議会

会長 湯浅良幸

阿波の藩札(十四)

信用のあった徳島藩札

銀札場座本人二人、金銀包役二人計四人にそれぞれ手代一人あて付けられた。
手代一人一年間につき銀三百目(匁)が夏と冬二回に分け藩札で支給された。

地方銀札場手代には一人につき二人扶持(年米約三石六斗)と銀百八十目が夏冬二回に分けて支給された。
地方銀札場手代の給与は勤務した日より計算、支給された。給銀は勤務した月算用にて支給され、その月十五日までは一カ月分に計算された。

地方銀札場に雇われた者の給与や諸経費はその奉行が支給した。堀裏では座本人が藩札をもって支給し、帳面には目付の認印を押さねばならなかった。
金銀包役越久田、座本人の使用する硯箱、筆、紙、銀札包紙、銀子包紙、秤、算盤等々入用のものは銀札場奉行が支給した。

堀裏銀札場奉行は城内に詰めており、用がある時、銀札場へ出向いたようだ。もつとも、地方銀札場奉行は常勤だった。

藩札再発行
享保十五(一七三〇)年十一月十九日より領内で銀札が再び流通するようになった。この時、御城下には堀裏、南方は鞆浦、北方は撫養四軒屋、脇町の四カ所に銀札場が置かれた。

淡路では洲本、多賀村、沼島浦三カ所に銀札場が置かれた。
銀札場奉行は十月までに任命された。なお中島浦、池田村、日和佐浦に銀札場が増設されたのは十二月以降である。

この時、通用した銀札は二分、三分、五分、一匁、三匁、五匁の六種である。支払いに不足分ができたときは銭を使用した。
藩当局は庶民が金銀貨を使用することを原則的に禁止した。庶民は金銀貨を銀札場へ持参し藩札と交換さ

せられた。二分(二十文相当)以下の場合、銭を使用した。
銀子をもって藩札を交換する時、銀百目に対し、札一匁とし、藩札を銀子と交換する時は札百二匁は銀百匁の比率だった。
当時、貨幣と物価には変動があった。この際変動に応じた。
二十匁以上の取引、支払いにおいて金銀銭の使用を禁止し、藩札を用させた。穀物をもつての決済も禁止した。ただし年貢、藩からの貸付に返済の場合、例外とした。
藩は財政上の必要に際し、随時藩札を発行した。この際、領民に対し公表することはなかった。単純に言えば藩が藩札を二倍発行すれば領民の財産は二分の一に低下することになる。
徳島藩は藍の収益によって藩札の値崩れはなかった。藩によつては額面の一、二割しか通用しないところも少なくなかった。

参考 湯浅良幸著 『阿波貨幣史』 (続く)



阿波の藩札



科学センター

デジタルプラネタリウム(無料)

土、日曜、祝日、春休み中の午後1時30分～3時頃の2回実施。
4月のテーマ 「今夜の星空と木星のお話」
春から夏にかけてよく見える「木星」について、見え方や特徴などのお話をします。5月28日(日)まで。なお、4月29日(祝)から5月7日(日)の期間は、「ゴールデンウィーク特別投影「星はなぜ光る」」を予定しています。

平成29年度 友の会会員募集

科学センターでは、平成29年度科学センター友の会の会員を募集しています。
年会費 個人会員 2000円
家族会員 3000円
定員 40組

入会方法 科学センターにある入会申込書に必要事項を記入のうえ、会費を添えてお申し込みください。なお、活動は5月から始まります。

阿南市少年少女発明クラブ

平成29年度クラブ員募集

市内の小中学校に通う小学4年生以上を対象として、科学工作を中心に原則毎月第3土曜日の午前中に、年間10回程度活動します。高専の先生などを迎える講座や、夏休み中には市内内外の企業の工場見学なども予定しています。

定員 30人(希望者多数の場合抽選)
年会費 2000円(工作材料費)

発明クラブ体験会を実施

5月からの活動を前に、発明クラブはどんな活動をしているか知りたい人向けの体験会です。参加は無料、先着30人。
日時 4月22日(土) 午前9時～11時30分
発明クラブおよび体験会参加方法
4月中旬ごろ市内各学校を通じて配布されるチラシをご覧のうえ、お申し込みください。

問い合わせは 科学センター
(☎42-1600)へ
4月の休館日
3日(月)、10日(月)、17日(月)、24日(月)